



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 攝津製油株式会社

コード番号 2611 URL <http://www.settsu-seivu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 二ノ宮 義治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長

(氏名) 山本 信秀

TEL 072-280-2650

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 7,433 | 0.1 | 215 | △23.0 | 225 | △22.0 | 149 | △19.9 |
| 28年3月期第3四半期 | 7,424 | 5.8 | 279 | 36.1 | 289 | 34.7 | 186 | 43.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第3四半期 | 12.27 | — |
| 28年3月期第3四半期 | 15.31 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年3月期第3四半期 | 7,493 | 4,329 | 57.8 | 354.86 |
| 28年3月期 | 6,771 | 4,220 | 62.3 | 345.95 |

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 4,329百万円 28年3月期 4,220百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成29年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 特別配当1円00銭

配当予想の修正については、本日(平成29年2月7日)公表いたしました「配当予想の修正(特別配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,100 | 3.5 | 400 | 19.1 | 410 | 17.4 | 280 | 15.8 | 22.95 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期3Q | 12,222,080 株 | 28年3月期 | 12,222,080 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期3Q | 21,258 株 | 28年3月期 | 21,040 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期3Q | 12,200,974 株 | 28年3月期3Q | 12,201,703 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (3) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第3四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景とした雇用環境に改善は見られたものの、個人消費は足踏み状態が続いており、依然生活防衛意識の高まりがみられます。また、天候不順の影響や設備投資の伸び悩みもあり、国内景気は力強さを欠く状況が続きました。また、アメリカ新政権の政策運営やイギリスのEU離脱問題などによる世界経済の不確実性の高まりなど、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

こうした経済環境のなかで当社は、「安定的に、売上高100億円以上、営業利益4億円以上を確保できる企業体を確固たるものにする」という中期経営目標を達成すべく、油脂事業および化成品事業の事業展開力の強化と、受託事業を含めた事業相互間でバランス良く相乗効果を発揮できる体制の強化を目指した取組みを展開しております。

その結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高は、油脂事業が減少したものの、化成品事業が増加し、74億33百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

しかし、利益面では、引き続き原価低減に努めたものの、税制改正にかかわる経費や化成品事業における新製品の販促費などが増加したことなどから、営業利益は2億15百万円（前年同期比23.0%減）、経常利益は2億25百万円（前年同期比22.0%減）、四半期純利益は1億49百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(油脂事業)

当社の油脂事業は、精製受託、業務用斗缶販売、小瓶充填・小ロット精製から構成されています。

精製受託は、当期より原料油の受入能力を増強し数量の確保に努めましたが、市況状況の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

業務用斗缶販売は、市場価格が徐々に軟調に推移するなか、販売数量の確保に注力した結果、売上高は前年同期を上回りました。

小瓶充填・小ロット精製は、新規OEM品の受託は増加しましたが、既存OEM品の受託が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、油脂事業の売上高は31億25百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント利益は2億2百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

(化成品事業)

当社の化成品事業は、自社業務品、OEM及び業務提携先OEMから構成されています。

自社業務品は、外食産業や食品工場における衛生管理の強化に貢献すべく、中性洗剤、厨房機器用洗浄剤や除菌洗浄剤の拡販を行ってまいりました。特に、除菌剤につきましては、詰替え手間を軽減した製品など、さまざまなニーズに対応した製品を発売するなどし、引き続き順調に販売先が拡大するとともに、販売量も増加しました。また、食品工場の各種機器類の洗浄作業の効率化などに貢献できるアルカリ洗浄剤の販売量も増加し、売上高は前年同期を上回りました。

OEMは、会員販売向け製品の一部が減少したものの、既存の量販店、生協向けのハウスホールド製品の一部が好調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

業務提携先OEMは、業務用関連商品、家庭用関連商品が前年同期を下回ったものの、ケミカル関連商品が順調に推移し新製品の受託もあり、前年同期を上回りました。

以上の結果、化成品事業の売上高は40億96百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は5億57百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

(その他)

その他については、物流事業における流通加工業務、その他共に前年同期を下回りました。

以上の結果、その他の売上高は2億10百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は59百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産合計は、74億93百万円となり、前事業年度末に比べ7億22百万円増加しました。

主な内容は、流動資産につきましては、売掛金、短期貸付金及び棚卸資産の増加などにより6億11百万円増加し、固定資産につきましては、主に機械装置の増加により1億10百万円増加したことによるものであります。

負債合計につきましては、31億63百万円となり、前事業年度末に比べ未払法人税等が減少したものの、買掛金及び未払金等の増加により6億13百万円の増加となりました。

純資産合計につきましては、43億29百万円となり、前事業年度末に比べ利益剰余金等が増加し、1億8百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、57.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、「平成28年3月期 決算短信（非連結）」（平成28年4月28日発表）において公表いたしました当初の計画を変更しておりません。経営を取り巻く諸情勢は依然として厳しい状況で推移しておりますが、この計画の達成に向け更に取組みを推進してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 32 | 89 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,581 | 2,834 |
| 有価証券 | 0 | 0 |
| 商品及び製品 | 215 | 253 |
| 原材料及び貯蔵品 | 119 | 172 |
| 短期貸付金 | 509 | 694 |
| その他 | 59 | 85 |
| 流動資産合計 | 3,519 | 4,130 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 673 | 635 |
| 機械及び装置(純額) | 223 | 306 |
| 土地 | 1,919 | 1,919 |
| その他(純額) | 165 | 209 |
| 有形固定資産合計 | 2,980 | 3,070 |
| 無形固定資産 | 10 | 9 |
| 投資その他の資産 | 260 | 282 |
| 固定資産合計 | 3,252 | 3,362 |
| 資産合計 | 6,771 | 7,493 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,278 | 1,758 |
| 未払金 | 583 | 777 |
| 未払法人税等 | 83 | 23 |
| 引当金 | 65 | 46 |
| その他 | 78 | 67 |
| 流動負債合計 | 2,089 | 2,674 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 384 | 413 |
| その他 | 75 | 76 |
| 固定負債合計 | 460 | 489 |
| 負債合計 | 2,550 | 3,163 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,299 | 1,299 |
| 資本剰余金 | 1,165 | 1,165 |
| 利益剰余金 | 1,697 | 1,798 |
| 自己株式 | △7 | △7 |
| 株主資本合計 | 4,154 | 4,255 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 66 | 74 |
| 評価・換算差額等合計 | 66 | 74 |
| 純資産合計 | 4,220 | 4,329 |
| 負債純資産合計 | 6,771 | 7,493 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 7,424 | 7,433 |
| 売上原価 | 6,414 | 6,390 |
| 売上総利益 | 1,010 | 1,042 |
| 販売費及び一般管理費 | 731 | 827 |
| 営業利益 | 279 | 215 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 4 | 4 |
| 仕入割引 | 2 | 3 |
| 受取地代家賃 | 1 | 2 |
| その他 | 1 | 1 |
| 営業外収益合計 | 10 | 11 |
| 営業外費用 | | |
| 売上割引 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 0 | 0 |
| 経常利益 | 289 | 225 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 1 |
| 特別損失合計 | 0 | 1 |
| 税引前四半期純利益 | 289 | 224 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 98 | 71 |
| 法人税等調整額 | 3 | 3 |
| 法人税等合計 | 102 | 74 |
| 四半期純利益 | 186 | 149 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)
【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|-------|-----|-------|
| | 油脂事業 | 化成品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,330 | 3,876 | 7,207 | 217 | 7,424 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,330 | 3,876 | 7,207 | 217 | 7,424 |
| セグメント利益 | 222 | 531 | 754 | 66 | 820 |

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、物流業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|---------------|------|
| 報告セグメント計 | 754 |
| 「その他」の区分の利益 | 66 |
| 全社費用 | △541 |
| 四半期損益計算書の営業利益 | 279 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|-------|-----|-------|
| | 油脂事業 | 化成品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,125 | 4,096 | 7,222 | 210 | 7,433 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,125 | 4,096 | 7,222 | 210 | 7,433 |
| セグメント利益 | 202 | 557 | 759 | 59 | 819 |

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、物流業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|---------------|------|
| 報告セグメント計 | 759 |
| 「その他」の区分の利益 | 59 |
| 全社費用 | △604 |
| 四半期損益計算書の営業利益 | 215 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。